



ひっぴっぴだより

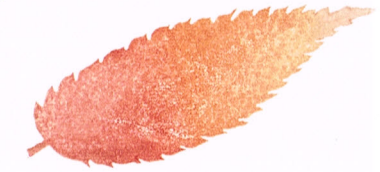
NO.8 2012.10.31

関わりが充実しているこの時期…お友だちとのやりとりは たくさん
気づきと変化と嬉しさをもたせてくれます。友だちがいて たっぷり遊べる場
があり。見守る大人がいて。日々のやりとりも深まります。

(下記 敬称略)

- さんぽ先で 陽麗 結月・心美・呂曼・悠太がいない? と思ったら さらの上の道へ
5人がおんおん進んでいる。海国 泰雅 も心配して「ひつちゃ〜ん! こちゃ〜ん!」と
追いかけてくる。5人は300m位先の 森の中で落ち着き 笑い合っている。どんどりだやぞ
っばかり。どんどりだやぞ 交流を繰り返している。
- 俊林 理央子の二人がおすまじと中。そこに虫がや(すていじり虫)。(理)「いびつから虫か
かかそうぞしよ?」と心配められると 素直に手を止める。(俊) 悠太が各々縄とび
を持ち 森を歩いていく時。自分より前に進み始めた (理) の縄とびを踏んで進み
おに化した。(俊) (理) 「はい。足あげて〜。やめて〜 (理) のたからぬ」と声をかけると 素直にやめる。(俊)
- デッキの所で 陽香・せつが おすまじとをしていると 渚月・愛莉がやってきて突然 (渚) 「
出て行って! それは和室の場所よ!」とびっしりおすまじとを (渚) 「せつちゃん! 山あな違ふ所
よ!」とすっぴん顔で言い返す。せつはやわらかく (渚) 「違ふ所にあるからいいよ。どうぞ」と
(渚) (渚) に伝える。すると やわらかく (渚) 「でも ほんまの うちにけうよ」と提案。
- ネットで遊んでいる 昊球・行人を見て 權も「カレシだておる!」下からゆっくりに登り。大木
根がはよいと 川へ降り (渚) のアドレスをもらいおすまじと。午の置き場所。足とへかきおすまじと
エフ一つ言われた通りに 忠実に守り。ネット登りを達成! 周りにいたおすまじとに「やあ
と祝福され (渚) は嬉しそう…。大人の手を借りながら 友だちの助言でやぞクワイおすまじと笑顔
- 墨がころんぞしよ? (墨) 「飛んぞしよ〜して」と言うので (渚) が「痛いー 飛んぞしよ〜」と
海斗に飛んぞしよと (渚) 「アアアア…!」と小芝居をして (渚) はセツツと笑顔に…。 (渚)
の気持ちがいい…。
- さんぽの途中。呂曼の首を寄っていた 泰雅 は トゲのある木が道に覆いかぶさるの
を見て (泰) 「あ。4747おる木だ!」とさっと踏みよけて倒し 足で押さえて (泰) 「ロマン
の上を歩いていいよ。4747おるから 触ると痛いからね」と声をかけている。階段を登
りおすまじとでは 墨が (渚) に手をさしのべていて (墨) 「大丈夫! かんおって!」と手をさしのべ
ている。帰り道 坂道で 理央子が滑って尻もちをついた。(理) 「大丈夫?」みんな自然に
友だちを助ける 言葉かけ やぶるおすまじと ができている。

- このこの絵本が読了。宗悟・愛莉は このこの興味津々。(宗) は 1回おすまじと「このこの探
に行こう!」と皆に声をかけている。結月・行人・明日香・俊林も交り探しの…。(宗)
は見つくと 絵本と照らし合せながら 同じものがあると「あ。それ! わー! 素敵!」
タマゴタケの大きくなったおすまじとと 生れおすまじとのおすまじとが (宗) は 大きなたまご
タケ一つ取って 橋のたもとに皆に見せている。(渚) (渚) はおすまじとがタケに近づくと 森の
中や崖を回り。15分以上のこのこの見つけ方。(宗) は「あれ? 似てたけど。これは裏側が白
いから違うぞ! 模様が細いからこちらはそれ!」と興味はつきない。その持ち子に 泰・登
も引子でこれ 絵本のタマゴタケを指して「これ見たい!」(宗) 「これに着いて! 知ってる
ぞ! これ 絶対丸いから。やつは取つておすまじとだ!」(渚) 「それ?」(宗) 「たつて このこの
はそれとって おすまじとから! 赤いおすまじと!」と力説。
- 箱川りの日。よく働いたおすまじと。ラマ2後もやりたい!と 1回おすまじと川り始め。途中
陽史奈と分担作業をしている。(渚) 田んぼのほうへおすまじと川りしたい。リマ2川りか鳴
らぬといふ。鳴ったおすまじとで? (渚) 「これがお米に取んならね!」(渚) 「今私
たちとごちそうおすまじと仕事をしているんだよ」 積み重ねて本当に楽しい。
- 涙をふくはから森の方から歩いてくる 愛莉。海国と手を繋いでいる。涙の理由は。おすまじと
話さうとしたい。(渚) も知らずとすまじと答え。少しおすまじとにしている。(渚) (渚) が (渚) のスクップが
曲がっているおすまじと。涙のおすまじとに伝える。おすまじとにしている (渚) も目に涙がこぼれおすまじと。
渚月おすまじとの中で一人おすまじと様子。(渚) (渚) は。スクップが曲がっているおすまじとに
おすまじとに伝えるおすまじと (渚) 「たつて スクップはこうやるに。(渚) がちゃんとやって
おすまじとに伝えるおすまじと (渚) (渚) がおすまじとに伝えるおすまじと (渚) がおすまじとに
おすまじとに伝えるおすまじと (渚) (渚) がおすまじとに伝えるおすまじと (渚) がおすまじとに
おすまじとに伝えるおすまじと (渚) (渚) がおすまじとに伝えるおすまじと (渚) がおすまじとに
おすまじとに伝えるおすまじと (渚) (渚) がおすまじとに伝えるおすまじと (渚) がおすまじとに
- おすまじとが作りおすまじと。偉大。行人が おすまじとを教く。(おすまじと 4-2-1。4-2-1) の順に乗せる。おすまじと
おすまじとを教く(おすまじと) おすまじとに 教えている。一番おすまじとを作っているおすまじと。朝次おすまじと作り
おすまじとを歌にして「4-2-1~1~4-2~1~1~1」。あ。違ったおすまじとのおすまじと。おすまじとは
おすまじとに 使ったおすまじとに乗せおすまじとにしている。マイペースに川りしたい。陽麗は。(渚) 「おすまじと
これ!」と4-2-1乗せおすまじと。(渚) 「おすまじとが! (渚)」と一度おすまじとから乗せおすまじとに! 苦笑。(渚)
おすまじとに
- デッキの所で 結月・行人・宗悟が 4人の木にやってくるおすまじとと 小鳥を眺めている。(宗)
「ここにいておすまじとね〜」(渚) 「友だちに話したおすまじとね〜」(渚) 「おすまじとと小鳥と友だちに
話した!」… 3人は 1つと見つめている。(渚) 「いい場所だね〜」 穏やかな
時間が流れている。

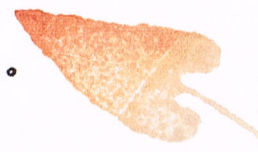


- 昊瑛が和太と別れ難く大泣きの朝。②に抱かれ 暗い顔で朝の集りに。この日は 健太が 名前呼びをやることに... 一番は 健太「うん!!」と愛情込めて 呼んでくれた。④は 本音で 揺るかに 泣いて 泣いて 泣いて。一日元気に遊ぶ出た 和太と和太。
- 大李「ミミズ!! 死んでるのか?」 健太は 石と 年中で 惹き。そして 二人で 掘った穴の中へ... ④は ④の 年中を見守っている。そして 二人で 和太。
- 昨日 見た テレビの内容と同じ「鬼ごっこ」をしよう と 泰雅が 提案「鬼に 列ね」と 宇大朗が 参加。 健太・行人・大李・泰雅が 走り回す。④一人は 和太が 捕まると ②「鬼を 捕まると?」と 提案。④が「大丈夫!」と 和太 和太を 追いかける。 和太が 疲れた頃 ④が 泰雅に タッチ! 泰雅は「タッチ エキゾチック!」と 半分泣きながら 逃げ去る。 ④「おい、見て! タッチして!」と 泰雅を 連れ 和太に 同行して。 ④は 一生懸命 走って 和太と タッチしたのか... ④「うん、タッチしたんだよ!」と 残念。 ④は タッチしたのを見せ 泰雅「おっ! みんなで!」 和太が 言っているのを 聞いて 追いかけて「違うぞ! タッチしたんだよ!」 ②「④が 落ち着くのを 待たせ」と 伝えると。 ④「おい、タッチしたんだよ!」と 自分も 振り返り 和太 ④の 気持ちも 理解している ふうに 感じられた。

- お知らせ 1. 職場体験学習として、11/1(木)~11/2(金)の2日間 軽井沢中は校2年生2名が来園し回。
- お知らせ 2. 伊那市にあるNPO法人「山の遊び舎はらべ」の保護者3名が学習の一環として11/2(金) びびりに見学に来られ回。
- お知らせ 3. 11/6(火)~7(水) 事務通信の取材が入り回。
- お知らせ 4. 和太さんの会が11/18(日)に予定して回。詳しくは 後日 資料を 配布して回。ご予定に入れたら だけ 回。おしく 和太さん 回。
- お知らせ 5. 和太さん 11月の 20日 15日(木)・26日(月)
- お知らせ 6. 今年も 石巻の 牡蠣 取りが 始まりました。今 必要なのは おしほひつひら 割烹着と おたかひ 刺繍袋。送る品がある方は 下記まで 回。 〒986-0825 宮城県 石巻市 穀町11-27. 松川米穀店

おおきいくみだより

10月22日、気持ちのいい秋晴れの中 小浅間山登山にでかけました。前の週に予定していましたが 雨のため 延期に。 楽しみをおあずけた分、青空の下 歩くことが出来ました。



小浅間山登山が初めての 木公ぼっくりさん。道の真ん中に立ち止まって おしゃべりに 花を咲かせたり、4人で並んで歩いていましたが「山登りは自分のペースで登っていいよ。」と 伝えると サッサ〜と 嬉しそうに 先頭集団へいく 昊瑛くん。 遼香ちゃん、せつちゃんも 後方集団と 楽しみながら 歩きます。 前と後ろを 行ったり 来たりして 人一倍 歩いている(?) 奏くん。 いっもの お散歩? と 思われるくらい リラックした スタートです。

先頭集団を 颯爽と 行く 宇大朗くん、宗悟くん、健太くん。そして しばらく 昊瑛くんも。 愛莉ちゃん、海国ちゃんも 第二集団。 大李くん、泰雅くん、海斗くん、權くんは 歩き始めて 10分もたたないうちから「ねえ〜 まだあ〜?」と 言いつつ 顔は 笑顔。 海斗くんは 自分のペースで ゆっくり歩き、たかさんの石の中から 動物物の 形をしているもの ハート型ほど つけて じっくり 石拾いを 楽しんでいます。 時々 愛莉ちゃんが 前方集団から 下がってきて 麗史奈ちゃんとおしゃべりしています。 去年、麗史奈ちゃんと 愛莉ちゃん は 一番 後ろを 歩いて いましたが 今年 は 余裕を感じます。

ゆるやかな 上り坂の 先は 森が ひらけて きます。 最後の 上り坂の 前に 健太くんが みんなに「この 先は (砂利道) ずばり やすいから 手袋をつけたほうが いいよ!」と アドバイスを してくれました。 上り坂を 途中まで 来たところで 振り返って すぐそこに 見える 浅間山をみて 海斗くん「高いとこまで 来たね〜。」と 一言。 それを 聞いて 宗悟くんが「山は いいね〜。」

頂上が見えてくると 後ろにいた 海国ちゃんが 健太くんと 頂上を目指して ラストスパート! 一番最後の 登頂になった 遼香ちゃん、せつちゃん、愛莉ちゃんでしたが 一度 頂上まで 登って 荷物を 置いてきた 健太くんと 海国ちゃんがお迎えに来てくれ。 健太くんは 遼香ちゃん、せつちゃんの リュックを持って くれました。 そして 2人のお迎えが 嬉しくて 走りだしたのでした。 全員が 頂上に 到着して すぐ「去年、かかれんぼしたよね? 行ってきて いい?」と 大李くん。 「みんなが バンザイしようよ!」と 伝えると「そか...!」 疲れも せず 遊ばず 満足です。 浅間山に向かて「浅間山 バンザイ!」 軽井沢の 町に向かて「軽井沢 バンザイ!」 と、びびり バンザイ! たっぴり 頂上 到着を 喜びました。 雄大な 浅間山を 眺めながら 食べる おにぎりは いっもの 何倍も おいしい! あ、という間に 食べ 終え。 いっものように かかれんぼや 鬼ごっこ、おうちごっこを 頂上で 遊びました。 帰り道は すべったり 転んだり しながら 自分の 足で しっかりと 歩いて きました。

行人くん、海月ちゃんが 体調を崩してしまい お休みで 本当は 残念でした。 おおきいくみ 15人 ひとりひとり 自分のペースで 楽しみながらの 登山 でした。

: 美穂